

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

しんぐうまちにしちくとしさいせいせいびけいかく
新宮町西地区都市再生整備計画

(第4回変更)

令和5年9月

ふくおかけん しんぐうまち
福岡県 新宮町

社会資本総合整備計画

計画の名称	新宮町西地区都市再生整備計画										重点配分対象の該当			
計画の期間	令和元年度 ～ 令和5年度（5年間）							交付対象	新宮町					
計画の目標	子どもから高齢者まで、だれもが不自由なく安全・安心に暮らせる市街地環境の形成													
計画の成果目標（定量的指標）	JR新宮中央駅の乗降客数 コミュニティバスの利用者数 1人当たりの公園面積													
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値			備考
											当初現況値 (R1当初)		最終目標値 (R5末)	
	JR新宮中央駅の乗降客数（人/日）										9907		10674	
	コミュニティバスの利用者数（人/年）										216,520		219,617	
	1人当たりの公園面積（㎡/人）										5.1		5.0	
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	398 百万円	A	398百万円 (うち提案事業分26百万円)	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0%		

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									R1	R2	R3	R4	R5				
A1	都市再生	一般	新宮町	直接	新宮町	新宮町西地区都市再生整備計画事業	道路、公園、広場等	新宮町						398	-		
									合計					398	-		

B 関連社会資本整備事業	
--------------	--

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									R1	R2	R3	R4	R5				
合計																	

C 効果促進事業	
----------	--

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									R1	R2	R3	R4	R5		
									合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

D	社会資本整備円滑化地籍整備事業
---	-----------------

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									R1	R2	R3	R4	R5			
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		

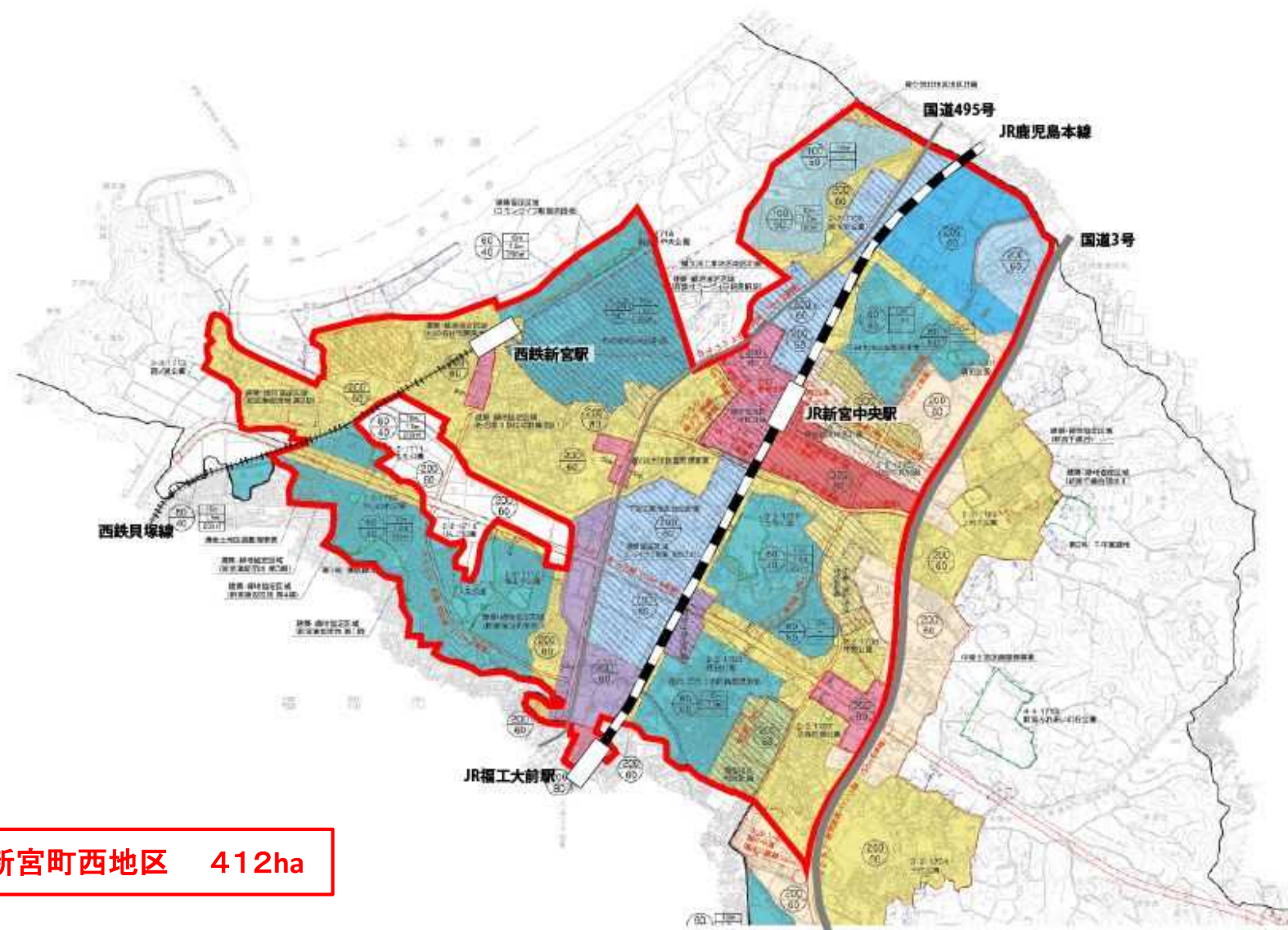
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R1	R2	R3	R4	R5
配分額 (a)	45	48	17	30	
計画別流用 増△減額 (b)			5	6	
交付額 (c=a+b)	45	48	22	36	
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)	45	48	22	36	
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 令和元年度以降の各年度の決算額を記載。

計画の名称	新宮町西地区都市再生整備計画		
計画の期間	令和元年度～令和5年度	交付対象	新宮町



新宮町西地区 412ha

都市再生整備計画(第4回変更)
新宮町西地区

福岡県 新宮町

令和5年9月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	☐
都市再生整備計画事業	☒
まちなかウォーカブル推進事業	☐

目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	福岡県	市町村名	新宮町	地区名	新宮町西地区	面積	412	ha
計画期間	令和5年度	令和5年度	交付期間	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度

目標
大目標:子どもから高齢者まで、だれもが不自由なく安全・安心に暮らせる市街地環境の形成 目標1: 公共交通の利便性・快適性を向上させることで、自動車に頼らない安全安心な交通環境を実現する。 目標2: 歩行者や自転車利用者が快適に通行できる、安全・安心な交通環境を整備する。 目標3: 住民の憩いの場や交流の場の創出などにより、生活環境のさらなる充実及び安全で安心な地域づくりを図る。
目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 ●まちづくりの経緯 ・昭和30年に旧新宮町と立花村が合併し、現在の新宮町が誕生した。 ・昭和40年以前は、海岸部周辺の漁村集落と平地部及び山間部の農村集落が中心であったが、筑前新宮駅(現JR福工大前駅)や西鉄新宮駅の開設により、2つの駅を中心に市街地が形成されてきた。 ・昭和45年の国道3号開通を期に国道3号以西に住宅地が形成された。 ・昭和60年以降は国道3号沿道に大型商業施設の立地が進んだ。 ・平成に入り、湊坂団地や桜山手団地などの大規模な住宅団地開発や夜臼三代土地区画整理事業が行われ、また、平成10年以降も杜の宮団地やシンプレット新宮等の住宅開発が行われ、市街化が急速に進行している。 ・東部地域は九州自動車道の開通、県道筑紫野古賀線の整備に伴い、工業団地が立地してきた。 ・西鉄貝塚線の新宮駅以東は、平成19年3月に廃止された。 ・平成22年3月開業のJR新宮中央駅の両側では2つの土地区画整理事業が行われ、町の核づくりが進んでいる。 ●まちづくりの現況 ・中心市街地は、JR新宮中央駅が開業し、公共・公益の機能の連携強化は進んでいるが、急激な人口増により公共施設の不足が生じている。 ・中心市街地周辺では、安全な歩行者・自転車空間を確保できていない道路が多い。 ・東部地域は、都市基盤整備の遅れにより、都市づくりにおいて中心市街地との格差が生じている。 ・東部地域は、農地の耕作放棄や森林の竹林化による、遊水池機能、保水・水源涵養機能や景観保全機能が低下している。 ・西部地域は、新宮漁港と中心市街地を結ぶ交通手段の利便性が低い。
課題
高齢者や子どもなどの交通弱者も安全に安心して移動できる交通環境の形成と安全で安心な生活環境の形成のための公園整備や地域活性化の取り組みが必要である。 ・安全な交通環境の整備のため、歩道整備や自転車での交通環境の検討・整備が必要である。 ・自動車に頼らない安全安心な地域づくりのためにも、公共交通の利用を促進する必要がある。 ・安全安心な歩行者空間を確保するために、歩道の連続性確保や車両のスピード抑制を中心とした道路整備が必要である。 ・自転車の安全で快適な利用のための自転車利用環境のネットワーク計画策定が必要である。 ・市街化区域内の人口及び都市機能の過密化に対応し、生活環境を向上させるため、憩いの空間としての公園や緑地の整備が必要である。
将来ビジョン(中長期)
・第5次新宮町総合計画では、まちの将来像として、「人が輝き 快適に暮らせる 元気なまち 新宮」を掲げ、基本理念として、物の障壁や心の障壁を取り払い誰もが幸せに生活できる環境をつくり皆で支え合う地域社会をめざす「人にやさしいまちづくり」、豊かな自然・文化・人材を活かしながら人と環境にやさしい持続可能な社会をめざす「環境共生のまちづくり」、町民と行政がお互いの信頼のもと特徴を活かし本当に望むまちをめざす「協働で拓くまちづくり」などを設定している。 ・都市計画マスタープランでは、将来都市像として、「自然と共生するコンパクトシティ新宮」を掲げ、地域環境の保全と開発とのバランスに配慮した「循環型都市づくり」、既存市街地の成熟と密度高い空間利用を目指し自然・歴史環境の保全による「成熟型都市づくり」、地域の個性が明らかになる詳細な土地利用と人・もの・情報が活発に行き交うことができる交流の拠点・交流ネットワーク基盤づくりを進める「交流型都市づくり」をその形成の方針としている。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
JR新宮中央駅の乗降客数	人/日	JR新宮中央駅の1日当たり乗降客数	JR新宮中央駅への歩行者・自転車の動線を確保し、公共交通の利便性を高めることで、自動車に頼らない安全安心な地域づくりを図る。	9,907	平成29年度	10,674	令和5年度
コミュニティバスの利用者数	人/年	年間のコミュニティバスの利用者数	住宅街からバス停への歩道を整備することで、歩行者・自転車の動線を確保し、公共交通の利便性を向上させ、利用促進を図り、利用者●%増を目標とする。	216,520	平成29年度	219,617	令和5年度
1人当たりの公園面積	m ² /人	計画区域内の人口1人当たりに占める公園面積を算出	しばらくは人口増加が続くことが予想され、1人当たりの公園面積が5.0m ² /人を下回らないことを目標とする。	5.1	平成30年度	5.0	令和5年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
① 公共交通の利便性・快適性を向上させることで、自動車に頼らない安全安心な交通環境を実現する。 ・既設水路を蓋掛けし道路を拡幅した上で、新宮中央駅周辺の歩道を整備し、安全・安心な交通環境を形成する。 ・既設水路部を歩道に整備する事で、バス停までの動線を確保し、安全・安心な交通環境を形成する。	・町道駅西口3号線改良事業(新宮町)【基幹事業・道路】 ・夜臼地区道路改良事業(新宮町)【基幹事業・道路】
② 歩行者や自転車利用者が快適に通行できる、安全・安心な交通環境を整備する。 ・既設水路を蓋掛けし道路を拡幅した上で、新宮中央駅周辺の歩道を整備し、安全・安心な交通環境を形成する。 ・既設水路部を歩道に整備する事で、バス停までの動線を確保し、安全・安心な交通環境を形成する。	・(再掲)町道駅西口3号線改良事業(新宮町)【基幹事業・道路】 ・(再掲)夜臼地区道路改良事業(新宮町)【基幹事業・道路】
③住民の憩いの場や交流の場の創出などにより、生活環境のさらなる充実及び安全で安心な地域づくりを図る。 ・JR新宮中央駅西口については、公園等の公共スペースが不足していることから、新たに駅西口3号公園を整備することで地域住民の憩いの場となり、ゆとりのある良質な生活環境を創出することができる。 ・湊井堰公園を整備し、地域住民の交流の場とするとともに、地域住民の憩い・健康増進にも資する公園として生活環境の向上を図る。 ・不要となった施設を撤去し、公園として再整備することで、景観の向上とともに地域住民の健康増進にも資する公園として生活環境の向上を図る。	・駅西口3号公園整備事業(新宮町)【基幹事業・公園】 ・湊井堰公園整備事業(新宮町)【基幹事業・公園】 ・白峯公園整備事業(新宮町)【基幹事業・公園】
その他	

様式(1)-④-2

(金額の単位は百万円)

...A

...B

[illegible]

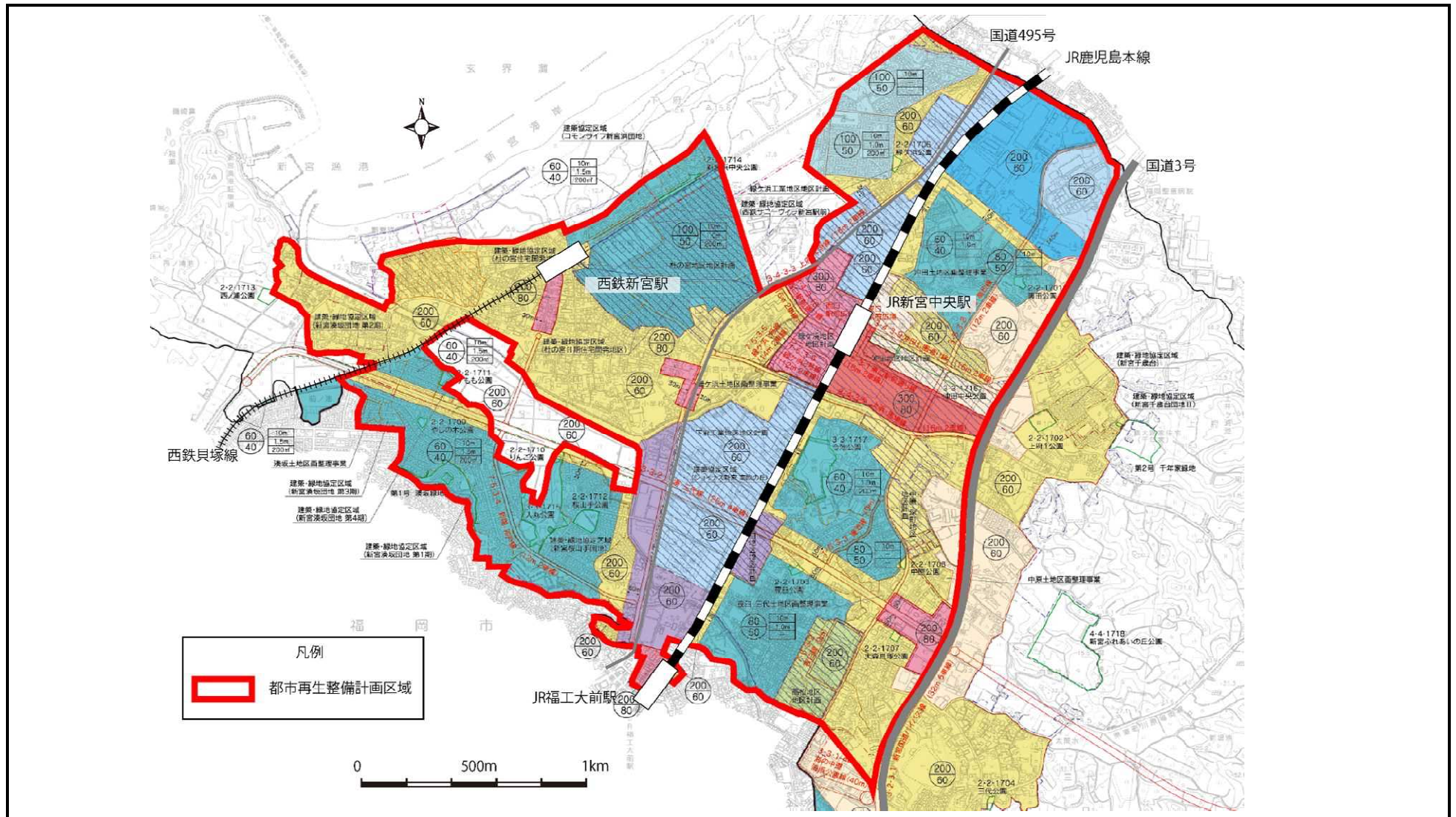
新宮町西地区(福岡県新宮町)

面積

412 ha

区域

緑ヶ浜、杜の宮、湊坂、桜山手、下府、美咲、上府北、中央駅前、新宮東、夜臼の一部及び大字湊、大字新宮、大字下府、大字三代の一部



新宮町西地区(福岡県新宮町) 整備方針概要図

目 標	大目標：子どもから高齢者まで、だれもが「不自由なく安全・安心に暮らせる」市街地環境の形成 目標1：公共交通の利便性・快適性を向上させることで、自動車に頼らない安全安心な交通環境を実現する。 目標2：歩行者や自転車利用者が快適に通行できる、安全・安心な交通環境を整備する。 目標3：住民の憩いの場や交流の場の創出などにより、生活環境のさらなる充実及び安全で安心な地域づくりを図る。	代表的な指標	JR新宮中央駅の乗降客数（人/日）	9,907	（H29年度）	→	10,674	（令和5年度）
			コミュニティバスの利用者数（人/年）	216,520	（H29年度）	→	219,617	（令和5年度）
			1人当たりの公園面積（㎡/人）	5.1	（H30年度）	→	5.0	（令和5年度）

